

「自ら解決できる問題は自ら解決する」を変えたバージョン 2

<前文>

私たちのおいらせ町は、大海にそそぐ奥入瀬の清流と緑の平野に育まれた美しい町です。先人が育んだ伝統と歴史を大切にしながら、内外の新しい文化を受け入れて成長する、住民活動の活発な町です。(自然/歩み/現状)

今、社会を取り巻く環境が大きく変化するなかで、私たちは豊かな自然環境や伝統、文化、産業を守り、安心して暮らせる地域社会を次代に継承しなければなりません。(課題)

そのためには、「(地域が) 自らの意思で選択し、自らの責任において行動する」という自治の原点に立ち、まちづくりの主体である町民と行政、議会、ともに協力してまちづくりを進める必要があります。(理念/目的)

私たちは、郷土の文化を高め、豊かで活力あふれる町にするため、そして、子ども達が心豊かに健やかに育ち、大人は誇りを持って人生を送る、希望に満ちた田園定住都市「おいらせ町」を創造するため、ここに自治基本条例を制定します。(めざす将来の姿)

<資料 3 で修正したところ>

- ・「解決できることは解決する」を「意思で選択、責任において行動」に言い換えました。(地域が) はなくても意味は通じますが、こだわる意味で入れています。
- ・「郷土の文化を高め、豊かで活力あふれる町にするため」を 4 段落目に移動しました。3 段落目では、どうも日本語的に落ち着きが悪い気がします。「そして」でつなぐことで、目的がしつこくない形で並列できると思います。

<説明>

(前バージョンに同じ/略)

第 3 段落では、前段で示された課題を解決するためには、まちづくりの主体である町民と行政、議会が協働の考え方に立って、協力して取り組むことが重要であることを明らかにしています。

第 4 段落では、自治基本条例がめざすおいらせ町の姿を簡潔に述べ、制定する決意を宣言しています。文章には、町民憲章と、合併に伴って策定された新町建設計画で示された理想の将来像「田園定住都市」が生かされています。